

県民フォーラム意見  
報告書(案)  
(第 50 回～第 52 回)

令和6年3月

水源環境保全・再生かながわ県民会議

## 県民フォーラム意見について（第50回～第52回）

### 1 はじめに

「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」（以下「県民フォーラム」という。）は、水源環境保全・再生の取組について、県民の意見を幅広く収集するとともに、水源環境保全・再生に係る情報の提供・発信等を目的に「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」という。）が開催するものである。

第49回県民フォーラムまでに収集した県民フォーラム意見については、これまでに取りまとめた上、県に対して報告を行い、県から報告に対する回答を受けている。

このたび、令和5年度に実施し、第52回県民フォーラムまでに収集した県民フォーラム意見について取りまとめたので、県に対して報告するものである。

なお、令和5年度は、コロナ禍以降4年ぶりとなる本格的な広報の再開となった。第50回県民フォーラムでは、もり・みずカフェの単独開催を平成26年度（第23回県民フォーラム）以来9年ぶりに実施し、また、第52回県民フォーラムのシンポジウムでは、後日YouTube配信を行い、Webアンケートを受け付けるなど、多様な開催・回答手法も取り入れることで、効率的な県民意見の集約や情報発信に努めている。

### 2 県民フォーラム（第50回～第52回）の結果概要

第50回 (もり・みずカフェ)	日時	令和5年6月24日（土）10:00～16:00
	会場	横浜そごうB2階「新都市プラザ」（横浜市西区高島2-18-1）
	出席者	○情報発信チーム 稲野辺 健一、上田 啓二、大原 正志、乙黒 理絵、倉橋 満知子 太幡 慶治、西田 素子、古舘 信生、増田 清美、三宅 潔、 宮下 修一、三好 秀幸
	アンケート 回答者数	205名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源環境保全・再生施策の紹介&amp;アンケートの実施</li> <li>・施策紹介パネルの展示（A1サイズの施策紹介パネル展示）</li> <li>・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」読み聞かせ</li> <li>・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出</li> <li>・シカ他6体の剥製を展示</li> <li>・水生生物標本及び底生動物と水質に関するパネルの展示</li> <li>・森林写真パネルの展示</li> <li>・間伐材製品等の展示</li> <li>・施策関連動画の放映</li> <li>・子ども向けクイズの実施</li> </ul>
第51回	日時	令和5年8月5日（土）10:00～14:30
	会場	やどりき水源林（足柄上郡松田町寄地内） ※同日開催「第20回やどりき水源林のつどい」で実施
	出席者	○情報発信チーム 稲野辺 健一、上田 啓二、大原 正志、乙黒 理絵、倉橋 満知子

(もり・みずカフェ)		太幡 慶治、西田 素子、古舘 信生、増田 清美、宮下 修一、三好 秀幸
	アンケート回答者数	149名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源環境保全・再生施策の紹介&amp;アンケートの実施</li> <li>・施策紹介パネルの展示</li> <li>・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」読み聞かせ</li> <li>・着ぐるみ「かながわしずくちゃん」による演出</li> </ul>
第52回(シンポジウム)	テーマ	水源施策の15年間の歩みと将来像～神奈川の森林と水 未来につなげるために～
	日時	令和5年10月29日(日) 13:30～16:30(展示会場:12:30～17:00)
	会場	パシフィコ横浜会議センター3階(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
	出席者	<p>○施策調査専門委員会 土屋 俊幸、吉村 千洋、大沼 あゆみ</p> <p>○情報発信チーム 上田 啓二、大原 正志、乙黒 理絵、倉橋 満知子、太幡 慶治、西田 素子、古舘 信生、増田 清美、三宅 潔、宮下 修一、三好 秀幸</p>
	アンケート回答者数	90名(参加者数 126人)
	内容	<p>[1] 開会挨拶(5分) 土屋 俊幸(水源環境保全・再生かながわ県民会議座長)</p> <p>[2] 講演(講演 30分×3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田中 充氏(法政大学 名誉教授) 『水源環境施策の経緯と課題～神奈川の森と水 未来につなげる』</li> <li>・土屋 俊幸氏(東京農工大学 名誉教授) 『かながわの挑戦の現在とこれから : 施策後期(第3期・第4期)の取組みを中心に』</li> <li>・杉本 貴広氏(有限会社 杉本林業 取締役) 『水源の森林整備 山の仕事に携わって』</li> </ul> <p>[3] パネルディスカッション(60分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「水源施策の15年間の歩みと将来像 ～神奈川の森林と水 未来につなげるために～」</li> <li>・パネリスト: 田中 充氏(法政大学 名誉教授) 土屋 俊幸氏(東京農工大学 名誉教授) 杉本 貴広氏(有限会社 杉本林業 取締役) 吉村 千洋氏(東京工業大学 環境・社会理工学院 教授)</li> <li>・コーディネーター: 大沼 あゆみ氏(慶應義塾大学経済学部 教授)</li> </ul> <p>[その他] 会場では次の展示等を実施。 市民事業交流会(活動展・体験教室)</p>

第52回 (シンポジウム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定非営利活動法人 東海大学地域環境ネットワーク</li> <li>・ 南足柄市森林ボランティア協議会</li> <li>・ 特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ</li> <li>・ 特定非営利活動法人 野生動物救護の会</li> </ul> <p>写真展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丹沢の自然・生きもの写真展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はだの歴史博物館（故岩田傳三郎氏撮影写真）</li> <li>・ 吉田 文雄氏</li> <li>・ 石川 雄馬氏</li> <li>・ 飯塚 利行氏</li> </ul> </li> </ul> <p>パネル展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水源環境保全・再生施策展示パネル</li> <li>・ もう一つの震災復興</li> <li>・ 神奈川県レッドデータブック 2022 植物編</li> </ul>
------------------	---

### 3 県民フォーラム意見

第50回～第52回県民フォーラムにおけるアンケート集計結果及び個々の意見内容は、別紙のとおりである。

### 4 県民フォーラム意見の傾向について（第50回～第52回）

- ・ 県民フォーラムで寄せられた意見について、「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「県外対策」、「水源地域の活性化等」、「その他」の7項目により分類した。結果は下表のとおりである。
- ・ 主な意見としては、「広報活動を積極的にしてほしい」「森林の多面的な価値（防災や経済面を含めて）に、より着目した取り組みを期待します。」等が寄せられた。なお、「その他」の項目では取組の継続を求める声等の意見があった。

第50回～第52回県民フォーラム 項目別意見件数

項目		意見件数			
		第50回	第51回	第52回(Q5)	計
1	森林整備	2件	1件	16件	19件
2	水源環境への負荷軽減	2件	2件	5件	9件
3	情報提供・普及啓発	5件	3件	10件	18件
4	市民活動支援	0件	0件	0件	0件
5	県外対策	0件	0件	0件	0件
6	水源地域の活性化等	1件	0件	2件	3件
7	その他	21件	22件	23件	66件
計		31件	28件	56件	115件

## 第50回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	林 1 整、 備森	森が豊かになると海も豊になる
2		シカ狩り枯本伐裁にお金を投入して欲しい。(人件費)
3	荷へ源 2 軽の環、 減負境水	良い！ゴミを少なくする
4		川の岸をコンクリートで固めないようにしていただきたい
5	3、 情報提 供・普 及啓発	興味をカンキするチャンスをありがとうございます。
6		公報で時々県民に知らせることが必要だと思う
7		広報活動を積極的にしてほしい。(グッズの定期的・アニメコラボ・youtubeウラを見れる)
8		(no.3)もう少し知りたかった。広報の機会が良いと思う。ぜひもってもらいたい
9		水を含めた社会全般(?)にアプローチしていきたいです。
10	性地 6 化域、 等の水 活源	以前は、水道局で、夏場、道志川源流ツアーとかやってくれていたが今は、ない。
11	7、 その 他	ありがとうございました。
12		水は大事だ！
13		♡☆☆☆みずず
14		かんたんだった
15		いつまでもキレイな水を飲めるといいと思います。
16		食事において5大栄養素以上に必要不可欠な水を、水なしに5大栄養素の消化も吸収もないのだからもっと重視して市民はその取組みに協力して我々の税金をもっと活用してもらいたい。
17		しずくちゃんかわいいです
18		良くわかりましたありがとうございます
19		環境と人間の生活がうまくいこうたくさん取り組んでももらいたいです
20		関係諸代御苦勞様です
21		勉強になりましたありがとうございました
22		このような機会がなければ、立ち止まり考える事ができなかったです。きっかけを下さった事感謝致します。
23		こういう取り組みをできるのは、なんていうかすごい！
24		あたりまえに水を使っていた。勉強になりました。
25		ここで知って、お水に関してお勉強になりました。

番号	項目	記載内容
26	7、その他	水道週間
27		たのしかった。
28		皆々で守って行きたい。
29		べんきょうになりました。
30		むずかしい
31		がんばって下さい！！

第51回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	整森1 備林、	緑がきれいな水づくりに重要ということを学びました。
2	軽境2 減への、 の水 負源 荷環	自然環境の中でも、“水”はとても重要な資源で、整備だけでなく、水脈の保全・確保等、国がしっかりと握しながら長い将来の先まで見すえて取り組んでいく事が大事だと思います。
3		川がなかったら山くずれがおきちゃうし、よごれちゃうから川はひつようだと思った。
4	普3 及、 啓情 発報 提供 ・	いろいろなイベントを通して、神奈川の水の大切さを知らせていって欲しいな、この森が永く続くといいなと思います。
5		このようなイベントに参加して、理解を深めたい。
6		とても大切なとりくみだと思います。今回のような広報で意気をわかりやすく伝えてもらえる機会とてもよかったです！ありがとうございました。
7	7、 その 他	今回初めて知る内容で大変勉強になりました
8		縮小すると、再生などの取り組みの活動はんいがへると思ったから。
9		今と同じようにこの先ずーと水がキレイであってほしい。
10		頑張ってください。
11		いつも、いつまでも、美味しくて安全な水を飲めるように
12		年に一度でなく、何度もやってほしい。秋にもやどり木の森に来てみたいです。泊まりに来られたらもっとよい。
13		本日、林道を案内していただきましたが、その時に健脚になる話をきいてよかったです。又、このアンケートを書かせてもらうために、たちよった時にSDGSのあり方についてとてもいい話をききました。今日ここにこれて、宝ものような時間をもてて、ありがとうございます。水源林の必要性について、あらためて分かりました。サークルの人々や友人にもぜひはなしていきたいです。
14		今のまま変わらずに水をきょうきゅうしてもらうために今の取り組みを続けていってほしいと思いました。
15		今後も保全を続けて欲しいです。
16		有意義なお話が聞けて良かったです。ありがとうございました。
17		きれいな水でありがとうございました。
18		良い経験になり、ありがとうございました。
19		こんな取り組みがあり、しらなかった。勉強になりました。
20		たくさんの工夫を考える。
21		この様な事でみなさん意識もってもらえると良いと思いました。
22		これからも、水源の森を守って行って下さい！
23		水道水をおいしくいただいています。
24		水は大切なので、これからも保全に協力したいです
25		今日はじめてこのとりくみをしたけどよいとおもった。
26		おいしいみずがのみたい
27		水を大切にす
28		ぎまの水はおいしい。

第52回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(シンポジウム形式)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

(Q5 水源環境保全・再生の取組に関してご意見・ご感想等をお聞かせください。)

番号	項目	記載内容
1	1、 森林整備	森林災害がもたらす、水質の悪化の分析率
2		森林所有者、事業者の方々の意見・意向をクローズアップすべきだと思います。
3		民間企業のリソースを引き込んで巻き込んでゆくのが良いのではないのでしょうか
4		この取組で所有者と林業事業者のマッチング・施業集約化が促進され、事業終了後に公的介入がなくとも森林循環が促進されるような状況になればいいと思いました。
5		私自身横浜市民であるため、昔から道志の水について認知していましたが、山梨県道志村における水源涵養林の育成は、県民フォーラムで紹介した活動や再生施策の中に取り込まれているのでしょうか？ また私自身、大学院で森林動態調査を行っています。境界分野として「林政学」「保全生態学」「水文学」に関する知識や活動事例の認知が必要だと感じ、このフォーラムに参加しました。現場の人の声や施策についての理解を深めることができましたと思います。
6		森林の整備が重要だと思います。実現するためにはしっかり予算を確保すべきです。
7		林業の継続を維持する施策、正しい規制緩和。木材利用の活性化
8		丹沢湖上流域、又西丹沢の山々(東丹沢だけでなく)にも眼をむけて下さい。R8年で終わりにしないで継続を望む。山北町は90%森林そして水源地(横浜、川崎、横須賀の1部ときく)です。
9		県民であっても知らない人、無関心の人達が大多数を占めているのではないかと感じます。異業種の方々の知恵を借りて林業の死亡事故の低減、作業効率化の推進等、仕組みを作っていただきたいと思います。
10		ここ数年、自然災害、山火事、クマ、シカ、イノシシ被害やスズメバチ被害等が多発の感じを受けます。少子高齢化で放棄林が今後増える心配を持っています。放棄林の追跡と改善を取り上げて欲しい。
11		建築、土木と森林保全と密に関係しているので、緑を切り崩して宅地を作るなど、国、県が未来につなげることをともに考えてほしい。
12		林業の現場で働いている者です。森林には多くの役割やメリット、ニーズがあります。登壇者がのべたように水源に特化せず、神奈川の森林をどうしていくか今後多くの議論が必要だと思います。
13		山を見ていて、明るい人工林が増えたと思います。
14		国の森林環境譲与税の導入は、森林業の活性化に大いに役立つと思う。大いに活用して行くべきと思う。
15		県民参加の森林づくりの効果について教えてほしい
16		土屋先生から、高標高域の下層植生対策は「達成」とありましたが、一時的なものと考えます。捕獲圧を下げればシカの個体数は数年で倍増します。モニタリングと捕獲努力の継続が必要だと思います。 森林の多面的な価値(防災や経済面を含めて)に、より着目した取り組みを期待します。
17	2、 水源環境への 負荷軽減	上質な水作り
18		ダム湖の水質保全のために導入した高度処理型合併処理浄化槽の県補助金の継続と今後のダム湖水質管理をどう考えているのか？
19		森林関係を完全に行えれば水関係は比例して良くなるものです！山梨県には下水処理等への補助金を明確に示して改善する必要があると思います。桂川に浄水場、浄水池を作ってはどうか！←自然に同化出来る程度のもの
20		・水源環境を保全していくには、生態系の保全も重要だと考えます。神奈川では外来種駆除や在来種の保護を積極的に行っていく予定はありますか？ ・生活排水処理施設の整備促進によって、河川の水質は向上していると述べられているが、今後も水質向上を目指していくのか？ 瀬戸内海の「改正瀬戸内海環境保全特別措置法」のようなルールの下、単に水質を向上させるのではなく、コントロールしていくのか？
21		Q5は回答なし(Q2は回答ありのため、Q2の内容を添付) 水質保全の点で良好な水質を維持するため、水源地域への財源投入をさらに進めるべき。

番号	項目	記載内容
22	3、 情報提供・普及啓発	それぞれの成果を具体的な数値、事例で県民へ報告していくべきと思う。(財源の費用対効果)が見える様に。また活動の数値目標がそれぞれ立てられれば良いと思います。
23		予想していたよりも多くの方達(年齢性別もいろいろ)が参加されていて驚いた。今後もより多くの方たちに興味をもってもらいたいと思う。
24		東京と比べて神奈川の「かつ水」が少ないことをアピールしても良いのでは
25		水源環境税を支払うことには、抵抗は全くないが、もっと県民に広く宣伝することが必要だと思います。もっともっと横浜や川崎に住む住民や企業に森林が保全が重要であることを伝える必要があると思う。
26		県民への参加の呼びかけが少ない。県から市町村に知らせるシステムがよくない観望があります。この施策のPDCAサイクルを回すという考えは良い。空気と水の質保証を県が担う役割という考え方を導入すべき。この税金を使って県内市町村で考えて森林を拡大するのを山に限定するのではなく都市部の河川の流域にも広げたら健康社会につながると思った。
27		Q2で引続きですが、環境学習に力を入れて、認知度を上げるべきだと思います。
28		まずは知ることが大事だと思います。今回初めて参加し、このような取り組みをなされていることを知り、自分も保全に対して意識していこうと思いました。機会があれば知人にも紹介したいです。
29		Q5は回答なし(Q2は回答ありのため、Q2の内容を添付) 県民が負担している経緯から、15~20年の成果を森林地域を訪れたり、消費を通して相互交流できる制度にしてほしい。
30		神奈川県独自の独自性や先進性、県民参加や科学的プロセスを経た順応的管理により大きな効果を挙げていることをもっともっとアピールしてもらいたいです。
31		環境保全税の用途や効果(Before/After)が県民に伝わる広報があると良い。この広報が森林ボランティア等の成果につながっていることを認識してもらうことで継続的な協力にもつながると思う。
32		6、 地域の水 性 化 等 の 活 源
33	森林が身近にある神奈川の特性を生かした県民参加型の取組みを充実させてほしい。	
34	7、 その他	具体的な県民が参加した活動。 時間を守って下さい。(県らしくない！)
35		予算面も含め、数年ではおわらない為、継続管理できる仕組みを求めたい
36		水がきれいだと、海水も良くなる。その為には森林の状態が良くないといいないと思いました。
37		大切なことだと思った。今後も継続的に取り組む必要がある
38		環境保全継続の重要性を改めて強く感じた。
39		講演やパネルディスカッション中、展示会場の方？の話し声でざわざわして若干気になりました。静かにしてもらえるとよかったです。
40		水問題は時間がかかるので長いスパンで取り組みたい。
41		今回のフォーラムは施策を行っている県の姿が全く見えない。 内容(テーマ)から考えれば見せるべきだったのでは。
42		県の取組が大変素晴らしいので今後も取り組んでいただきたい
43		今後の方向性、継続していく必要性が高いこと。又、森林、水環境の多面的な効果に着目していくこと。これらが重要であることが良くわかりました。
44		すぐに結果が(効果?)出るわけではないので、中々市民の理解が得られない時もあるでしょうが、今後の気候変動には絶対必要な対策だと思いたい。しずくちゃんも応援しています。子供が水源に関して学ぶためのきっかけになり良いと思います。
45		神奈川県がこれからも県民といっしょになって、しっかり考え、実行していかないといいないと思っています。
46		従来の活動により県の森の状態が改善されていることが分かり安心しました。
47		多方面から自立対策を。
48	今までの取組に敬意と感謝を感じている。今後も頑張ってください。取組みを応援していきたい。	
49	ぜひ取組を継続していつてもらえたらと思います。	

番号	項目	記載内容
50	7、その他	水源環境保全税が有効に活用されはじめたと感じております。 山歩きが趣味ですが手入れが行き届いた地域とこれからの場所の違いが一目でわかります。
51		県として税を徴収しているが、当初施策に対する予算を算出して税額を決めたのか、負担にならない額から算出されたものなのか。後者であると推測されるが、それで十分な対策が可能なのか。
52		今後のフォーラム、その他の公開イベントの登壇者のジェンダーバランスに配慮してほしい。大綱終了後は、「水」のみならず、生物多様性、COPの目標を先取りするようなものになることを期待しています。
53		大綱後、20年間行ってきた事が、リセットされてしまわないように。 確実に未来につなげて欲しい。実現可能な施策の継続を。
54		今日のフォーラムで森林豊富な神奈川県を取りくみが質が高く、みなさん熱心なのが、よくわかりました。 県民、国民全員が、自分たちが住んでいる地域の自然を大切に愛するようになってほしいです。自然破壊を食い止めるのは、一部の人の力では無理で国民全体の課題になってほしいです。学校教育などにも取り入れられるといいですね。
55		ピーファス問題はないのでしょうか
56		日々の生活に追われている現状、忘れられているが、水は生命そのものです。良質で安全な水を将来に渡り十分に供給出来るよう水源林含め広く環境保全が大切と思います。

第52回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(シンポジウム形式)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

(Q2 水源環境保全・再生の取組を今後どのようにしていくべきか、ご意見をお聞かせください。)

番号	項目	記載内容
1	1、 森林整備	切捨て間伐の対策
2		民間企業のリソースを引き込んで巻き込んでゆくのが良いのではないのでしょうか
3		公共事業から民間での施業への移行。産業として成り立つ状況
4		森林再生の取組(植栽、針葉樹・落葉広葉樹の混交化、間伐など)はまだまだ発展途中ですが、水源涵養林を維持・増進させていくには、複数の施業を行い、土屋先生が仰っていた順応的管理や早急なPDCAサイクルの循環に活かしていければよいと思います。
5		違法伐採防止→再植林の義務づけ
6		間伐作業の継続
7		この財源がなくなると森林整備ができなくなるというか後退することは確実。まだまだ森林にお金をかけていかなければ好転はない。海と森とお友達、生物多様性の問題も含めて、神奈川県は日本の縮図といわれており、この税制は未来へ引き継ぐ有効な制度を残してほしい。
8		森林整備より林業としての産業の自立化支援も付加していただくと良いと考えます。
9		森林の重要性は増々大きくなっており、今後も取組みを継続すべきだと思う。
10		荒廃した森林を良好な状態にするには多大な労力等が必要。状況が改善された森林の機能維持をなるべくコストや労力をかけずに実現するためには、どのような方策が必要か十分検討すべき。
11		森林管理は、短くても50～60年スパンと考えている。長期の計画を立案して、世代を超えた取組むが必要だと思います。
12		森林を保全する事業者に対して更なる補助金を出すべき。事業としては成り立ちにくいので森林から受けるサービスの対価として支払うしくみでいいと考える。
13		森林を荒廃させないためにシカの管理が大切だと言うが、広大な丹沢の多数のシカをどのように管理していくのか？ハンターはそんなに多くいるのか？疑問に思いました。森林が取組みをやめると荒れて水道の水が悪くなる。
14		神奈川県は独自水源を確保しており、水源環境に恵まれている。豊かな森は豊かな海を育てると言うが、豊かな森林と海を持つ神奈川県はこれからも森林環境保全を継続していくべきだと思う。神奈川県に恵まれた自然環境を保全する事は県民にとって最重要だと思う。
15		森林整備をして明るくなった後何もしなければまたくらい森林となり、公益的機能がなくなってしまう。森林の若返りも含め、しっかりと継続できる仕組みづくりが必要だと思う。
16		杉本氏のお話を聴きまして森林保全の長期的な取組むが必要だと思いました。最近の激じん化した災害対策としてもです。
17		何といっても大本のしんりん保全ができていないと、いい水ができない。又、海もしんりんからつながっているの、これからもしんりん保全に力を入れてほしい。もっと資金がいるなら、その方向へ考える必要があると思います。
18		従来通り森林環境を改善する活動を継続する必要があると考えます。
19		森木も大切ではないでしょうか
20		土壌保全のための植生回復の取組むは効果を挙げているとのことですが、対策をやめるとやがて森林が暗くなり、シカが増えてまた劣化した森林に逆戻りしてしまいます。取組むは継続することが不可欠だと思います。また、脱炭素や防災・減災、生物多様性など新しい課題にも対応した包括的な取組むが必要になると思います。
21		森林整備の支援を継続すべき。
22	境2へ、 軽減 水源 環境	水の水質安定的確保期待しています。
23	水源環境保全をすることで、次世代に水を残すことはできます。しかし現在水道民営化や、水源の他国の買収されてしまうと保全は誰のためにしているのか！？となります。この点に関しての今、問題点、未来を聞きたい	

番号	項目	記載内容
24	3、 情報提供・普及啓発	県民参加のイベントをもっと広くPRすべきと思う。 県の広報、HPなどにも毎月のイベントを知らせるなど
25		県民へもっと周知を
26		苦労や施策に投入した時間・税金・人的資源・効果など、大きいもののはずなのに認知度が低い気がする。もっと広報を。
27		地球温暖化や大気汚染は、自分の普段の生活の中の問題なので関心が強いが、森や川の問題は、学者さんや公的機関が取りくむことのような思いがあるのが、正直です。(私は今月県外から転入してきました)一般人の私は、学者さんより「くまもん」のような親しみやすい存在からのアピールが耳に届きやすい。ふだんの生活の中で、私でもできる具体的なことをピーアールしてほしい。
28	4、 市民活動支援	県民の参加意識をもっとアップする努力が必要だと思う。
29		未来の人達に残すべきもの、残さないもの、全国の人達に啓発してほしい。 また、関心のある人にどう行動に移すべきか、移したいと思っている人の背をおしてほしい。
30		1. 森林関係→田中さん土屋さんが言うように水源に特化しない方がいい 3. 県民参加→この工夫をもっと予算を使った方がいい
31		より県民参加をうながしていく必要があると思う。
32		第4期5ヶ年計画で終了ではなく、継続する施策を残りの3年で考えるべき。県民参加活動も一部マンネリ化している活動もあると思われるので、若い人の参加を推進するべき。
33	5 対、 策 県外	・施策は継続して取り組むべきです。(森林) ・山梨による影響が大きいのであればもっと協力を仰ぐべきで県の施策による効果が見えてこない(水関係) ・トータルで評価したうえで税が必要か考えるべきです。
34	6、 の、 活 水 性 源 化 地 等 域	県民が負担している経緯から、15～20年の成果を森林地域を訪れたり、消費を通して相互交流できる制度にしてほしい。
35		森林の保全・再生は、20年間で改善するには限界がある。 大綱の期間が終わったあと、どうしていくのかの議論が必要。
36	7、 そ の 他	森林整備は永続的に継続する必要があります。 不足する財源は何らかの手法で確保する必要があると思います。
37		さらに温暖化が進んでいる為、水源管理、森林管理の他、温暖化対策と森林管理を結びつけて検討してほしい
38		水は人が生きていく上で、欠かせない物です。それは森林保全無くしては語れません。それには人手が必要です。一番お金がかかります。 入山税とか、皆が楽しんで払うものから少しずつ徴収するとかできると良いなと思います。キャンプとか。温泉税的な
39		今後も重要なことなので体系的な取り組みが必要です。
40		・水源環境保全税を将来に渡り継続していくこと ・水道料金値上げ分の何%かを水源地へ還元するなど…新たな取組
41		パネルディスカッションで理解した。同感です。
42		水源環境保全税を継続するか否かはこれからであるが、いずれにしろどう水源環境を保全・再生するか。 持続可能な仕組みを計画策定20年を迎える前に考えなければならない
43		1と2は切り離せるものではないので同一テーマとして扱うべきでしょう。
44		20年取り組んで、成果があった、よかった、で終わりにするのではなく次のステップ(カーボンゼロ、ネイチャーポジティブ、グリーンインフラ)へ進んでほしい。
45		継続するのか、新しい取組をするのか、早い段階で県民を交えたギロンが必要。残された時間は3年しかない。水源税導入時のことを考えればかなり検討が遅いのではないかと。県民と十分なギロンができるのか？
46		先生方もお話しされていたように、継続して取り組まなければいけないと思います。(環境の保全等は時間がかかるため)
47		20年を区切りとしてしっかり検証まとめ、次のステージの施策継続を望みます。
48		継続して取組を行うことが大切だと考えるが、続ける方法や無駄にしないための検討が大変だと感じた
49	水源環境保全税の維持と今まで以上の多面的な森林・水源環境の保全・活用をしていくべき	

番号	項目	記載内容
50	7、その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組を継続すべき</li> <li>・脱炭素や花粉対策をふまえた若返りも必要</li> </ul>
51		取組を継続していくことが必要なことがわかりました。自然を相手にする場合には20年は短いと思います。
52		水質保全の点で良好な水質を維持するため、水源地域への財源投入をさらに進めるべき。
53		個人的には保全税の納入額を1000円程度にしても良いのではと思います。結果的に森林の保全と良質の水が得られると考えます。
54		大綱終了後の公平で、透明性のある、持続可能な仕組みづくり。将来にわたる、良質な水の安定供給は、森林課、河川課が山や川で頑張っても地下トンネル、メガソーラー等の大規模開発がなされれば長年の努力もすぐに崩されてしまいます。新しい仕組みの中では、分野横断的な取組、仕組みを期待しています。
55		未達成の部分もあり、また水や森林(変わっていくもの)を相手としているものなので、継続していくべきものと思います。
56		何らかの形での継続が必要と考えます。